

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 団体用 )

## I 基本事項

整理番号 1291

事業名	文化協会補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3020			項	社会教育費・5項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	社会教育総務費・1目	
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり		
	まちづくりの目標		情熱と生きる喜びあふれるまち【生きがい】		
	施策目標		仲間との絆を深め、情緒やセンスを磨く、芸術文化活動・スポーツ活動を盛んにする		

## II Plan&amp;Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)				
		南あわじ市文化団体連絡協議会(市において文化活動を行っている団体、及び本会の目的に賛同する個人、特別会員には代表公民館長をあて、緑文化協会、西淡文化団体連絡協議会、三原文化団体連絡協議会、南淡文化協会をもって構成する。)			構成人数(人) 37	
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 市における生活文化、伝統文化及び芸術文化の振興を図り、地域文化の高揚発展に寄与する。				
	実施内容	(主な事業、活動内容等)				
		1) 展示会、発表会、研修会等に関する事業 2) 地域の文化振興のため調査研究に関する事業 3) 他地域との文化交流と、啓発普及に関する事業 4) 伝統文化の継承・発展、及び新しい文化の創造をめざす事業				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など)				
		旧4町の文化団体の会長が、会長、副会長として団体を運営し、市の文化展として写真、盆栽、絵画展を実施しており、今後書道、手芸などで統一した展示を計画しているが、まだまだ統一できていない部門が多くある。				
補助金算出根拠	旧4町の時の補助金をもとにその合計額。					
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	17 年度	~	平成	年度	<input type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前におけるの事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から 会員に個人・団体があり、会費にも差異がある。市町合併後更に協議を進め、目的達成のため事業推進を図る。					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	2,030	2,200	1,870	1,870
	文化協会補助金	2,030	2,200	1,870	1,870
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	2,030	2,200	1,870	1,870
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	2,030	2,200	1,870	1,870
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	1.1	1.0	1.0	1.0
受益者人数(3,189)一人当り経費(千円)	0.6	0.7	0.6	0.6	
経費に関する 補足説明					

### Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 補助金の大半が旧4町の文化団体へ交付金として支出されているため市の文化団体に残るのはわずかで、市統一の事業実施のためにも配分の方法を考えていかなければならない。旧4町の会費、会員にも統一性がなく今後の課題である。	自己評価 (5点評価)
		3
必要性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 文化の持つ力は「市の力」、文化と経済は密接に関連し社会に活力をもたらすと認識されている中で、合併後の市民意識をひとつにするためにも市民が文化に触れ創造に関わることで個人が元気になり、他者への発信や協働を通じて多くの人々を元気にする力を今こそ利用すべきで、さらなる行政の支援が必要である。 市内ではサークル数199団体3,189人 講座数34講座615人が活動している。さらに「団塊の世代」の人々が積極的に地域の文化芸術活動に参加支援していくための仕組みを検討していく必要がある。	自己評価 (5点評価)
		4
総合評価	絵画、写真、盆栽等の展示展については統一しつつあるが、旧町文化団体独自の事業、芸能祭については方向性が打ち出せていない状況である。更に協議をすすめて会員、会費を含めた統一が必要である。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p> </div>

## IV Action&amp;Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	旧4町の文化団体への交付金を事業ごとに分配し必要に応じて出展者にも負担金の徴収も検討していく。	同左
(現状維持以外の改善方法)	<p>現在、平成20年度の旧4町の文化団体への交付金の配分について検討中だが、旧町での行政支援が様々で、単に会員数、活動数などから割り当てするのは難しい状況にある。</p> <p>今後は各文化団体の統一文化祭を市文協で実施検討していきたい。</p>	同左
改善によって期待される効果	市統一の事業の実施が期待できる。	
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>旧4町の文化団体の決算をみると補助金の占める割合が緑8割・西淡7割・三原5割・南淡2割となっており廃止すれば当然割合の高い地区から活動停止となる可能性が高いと思われる。</p>	